

契約方法のイメージ

契約方法：派遣が可能な事業者を公募し、派遣単価（時間単価）と派遣可能人数を記載した見積書の提出を受け、派遣単価の低い業者から順に必要な人数が確保できるまで随意契約を行う。

※同額の場合は、派遣可能人数の多い者から順に契約の相手方を決定する。

※土曜日、日曜日【前半】及び【後半】において派遣可能人数を同数確保すること。

(○ < △)

予定派遣労働者数
(1回(4時間)あたり)
20人

予定単価
4,545円/時間

予定数量
(予定派遣労働者数での延べ)
2,080時間

C社
△,△△△円/時間
4人派遣可能

B社
△,△△△円/時間
8人派遣可能

A社
○,○○○円/時間
10人派遣可能

C社と随意契約 (△,△△△円/時間 2人)

派遣単価が2番目に低い△,△△△円の事業者のうち、派遣可能人数が2番目に多いため、契約順位3位
A社とB社で合計18人を確保できているため、20人-18人=2人について契約

B社と随意契約 (△,△△△円/時間 8人)

派遣単価が2番目に低い△,△△△円の事業者のうち、派遣可能人数が最も多いため、契約順位2位

A社と随意契約 (○,○○○円/時間 10人)

派遣単価が最も低い事業者は1者であるため、契約順位1位として契約

契約方法のイメージ（くじ引き）

派遣単価及び派遣可能人数が同一の事業者が複数となった場合は、くじ引きにより契約の相手方となる順番を決定します。予定派遣労働者数20人（1回4時間あたり）

（例）

応募事業者名	派遣単価（円/時間）	派遣可能人数	順位
W社	○,○○○円	15人	1
X社	○,○○○円	15人	1
Y社	○,○○○円	15人	1
Z社	△,△△△円	20人	4

(○ < △)

W社、X社、Y社の3者で「くじ引き」を実施

応募事業者名	くじ引きにより決定した順位	契約単価	人数
W社	1	○,○○○円	15人
X社	2	○,○○○円	5人
Y社	3	契約締結は行いません	

予定派遣労働者数20人のうち1位のW社と15人を契約しているため、20人 - 15人 = 5人を2位のX社と契約します。